

# 「北白川だより」 学校評価アンケート臨時号

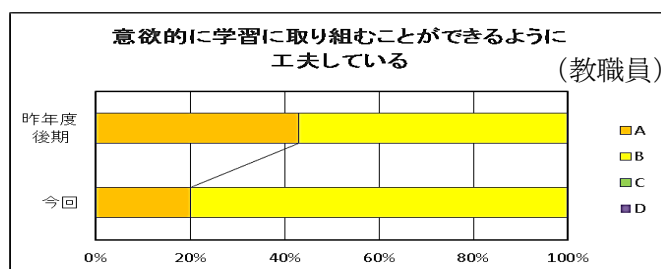
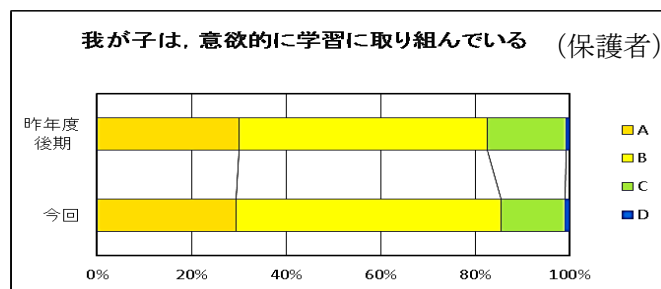
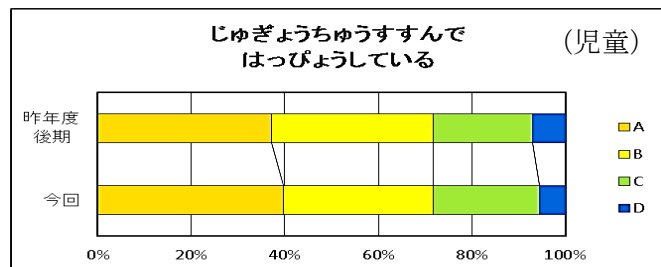
平成 30 年 11 月 1 日  
京都市立北白川小学校  
校長 松本 和文

平成 30 年度の学校教育目標  
教育活動を通して自ら学びに向かう力を育み、  
身に付けさせる確かな北白川教育  
「学び合い 高め合い 夢に向かって進む 北白川の子」  
～できるからする。できないからしないではなく、するからできるようになる。～

平成 30 年度のめざす子ども像  
なかよく  
元気に  
学べる子

## 平成30年度 前期 学校評価アンケート＜学習面＞

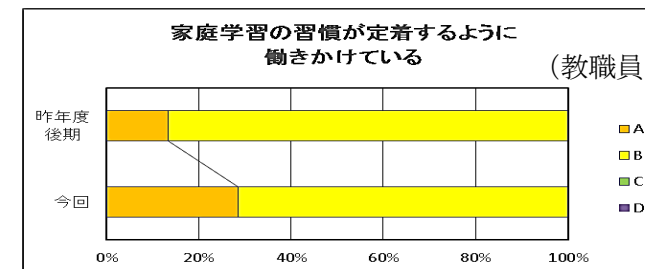
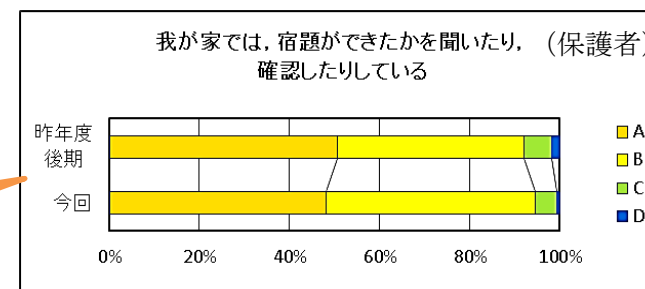
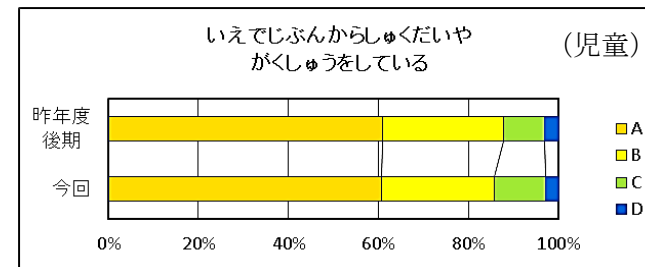
児 童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じゅぎょうがわかりやすく、 たのしい。	昨年度 後期	53.2%	35.4%	7.5%	3.9%	我が子は、授業がわかりやすく、 楽しいと言っている。	昨年度 後期	31.8%	59.0%	8.1%	1.1%	わかりやすく楽しい授業を 実践している。	昨年度 後期	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	今回	55.1%	35.2%	7.0%	2.8%		今回	29.6%	57.9%	11.5%	1.0%		今回	13.4%	86.6%	0.0%	0.0%
じゅぎょうちゅうすすんでは つぶやいている。	昨年度 後期	37.1%	34.6%	21.3%	7.0%	我が子は、意欲的に学習に 取り組んでいる。	昨年度 後期	30.1%	52.5%	16.7%	0.7%	意欲的に学習に取り組むこ とができるように工夫してい る。	昨年度 後期	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	今回	39.7%	32.1%	22.6%	5.6%		今回	29.4%	56.2%	13.4%	1.0%		今回	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
けいさんやかんじのちから がみについている。	昨年度 後期	51.9%	35.1%	10.5%	2.5%	我が子には、読む・書く・計算する といった基礎的・基本的な学力が 身についている。	昨年度 後期	34.5%	52.8%	12.3%	0.4%	読む・書く・計算するといった基礎 的・基本的な学力が身につくよう に取り組んでいる。	昨年度 後期	26.7%	73.3%	0.0%	0.0%
	今回	55.1%	33.1%	9.8%	2.1%		今回	32.7%	55.2%	11.1%	1.0%		今回	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
いえてじぶんからしゅくだい やがくしゅうをしている。	昨年度 後期	60.9%	26.8%	9.1%	3.2%	我が家では、宿題ができた かを聞いたり、確認したりし ている。	昨年度 後期	50.7%	41.5%	6.0%	1.8%	家庭学習の習慣が定着す るよう働きかけている。	昨年度 後期	13.3%	86.7%	0.0%	0.0%
	今回	60.6%	25.1%	11.5%	2.8%		今回	48.2%	46.6%	4.6%	0.7%		今回	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
ほんをよくよんでいる。	昨年度 後期	58.3%	23.1%	14.4%	4.2%	我が家では、本を読むこと ができる環境を整えている。	昨年度 後期	29.6%	38.0%	26.8%	5.6%	読書の習慣が定着するよう な働きかけを行っている。	昨年度 後期	26.7%	66.6%	6.7%	0.0%
	今回	53.7%	27.2%	14.6%	4.5%		今回	31.0%	42.5%	25.5%	1.0%		今回	33.4%	66.6%	0.0%	0.0%
じぶんからすすんでうんどう にしたしもうとしている。	昨年度 後期					我が子は、進んで運動に取り 組んでいる。	昨年度 後期					進んで運動できる工夫を考 え、実践している。	昨年度 後期				
	今回	55.7%	23.0%	16.4%	4.9%		今回	36.6%	39.5%	22.5%	1.3%		今回	21.5%	71.4%	7.1%	0.0%



設問「授業中進んで発表している」に対して、約 72%の割合で「よくできている・だいたいできている」と回答しています。「進んで発表する」ためには自分の考えを他者に聞いてもらいたいと思えることが必要です。「何でも言い合える学級づくり」「わかりやすく楽しい授業」「相手に伝わりやすい話し方のスキルアップ」などを心掛けて指導に当たることが大切だと考えています。また、1対1の対話形式からグループでの話し合い、全体発表など様々な形式での発表経験を積むことにより、発表することに対する抵抗感を無くしていくことも必要です。校内や校外での研修を重ね、引き続き授業改善に取り組んでいきたいと思ひます。



設問「家で自分から宿題や学習をしている」に対して、約 86%の割合で「よくできている・だいたいできている」と回答しています。北白川小学校の子ども達にとって「宿題はするもの」という意識が高く、また、保護者の方々の関わりがその思いを支えていることがわかります。教職員も効果的な宿題の出し方を工夫したり、子ども達のがんばりを認める機会や手立てを工夫したりして、子ども達がより自主的に家庭での学習に取り組めるような関わりをしていきたいと考えています。



本号では7月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面には＜学習面＞、裏面には＜生活面＞を載せています。表のAは「よくできている」Bは「だいたいできている」Cは「あまりできていない」Dは「できていない」を示しています。また、『自ら学びに向かう力』を見取る項目として2項目についてグラフで表しています。

今年5月に行いました全国体力テストの結果から、本校の子ども達に運動面のいくつかの項目について課題が見られました。そこで、今回のアンケートの項目に運動への取組の意識を尋ねる項目を入れました。昨年度はアンケートの項目になかったため経年比較はできませんが、今回のアンケートから5人に1人の割合で「進んで運動に親しむことがない」と答えていることがわかりました。

子ども達の成長にとって適度な運動は必要であり、体のいろんな部分をバランスよく使うことが大切です。

日々の遊びの中で体を動かすことの楽しさを感じることや体育科の学習で、バランスの良い運動を効率よく行うことを意識して取り組んでいきたいと考えています。体育科では「北白川体操」を取り入れるとともに、できたことを実感できる授業展開を工夫していきたいと考えています。

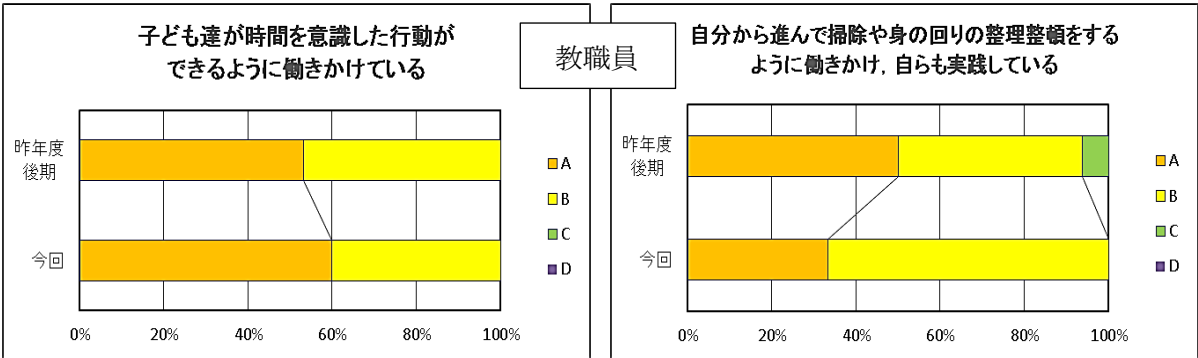
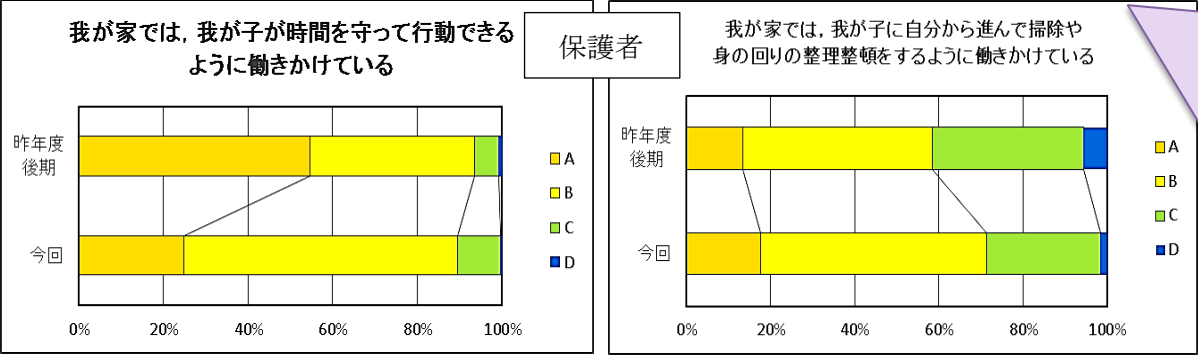
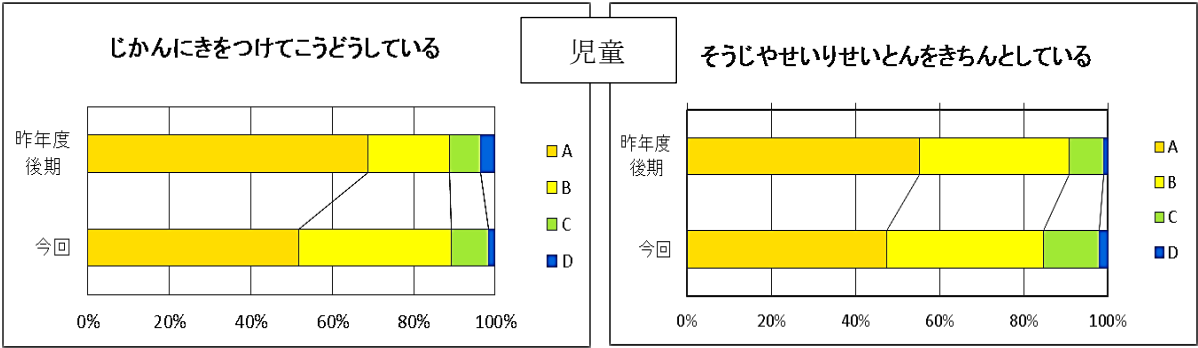


平成30年度 前期 学校評価アンケート＜生活面＞

児 童		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
こうないであったひとにたいして、じぶんからすすんであいさつをしている。	昨年度後期	51.6%	38.7%	8.0%	1.7%	我が家では、進んで挨拶するように声をかけをしている。	昨年度後期	36.5%	60.6%	2.5%	0.4%	校内であった人に対して、進んで挨拶ができるように働きかけている。	昨年度後期	59.2%	47.1%	0.0%	0.0%
	今回	54.4%	38.0%	6.6%	1.0%		今回	38.9%	57.8%	3.3%	0.0%		今回	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
ともだちとトラブルになったときにおちついてかんがえ、かいけつすることができる。	昨年度後期	34.1%	43.7%	18.7%	3.5%	我が家では、友達とトラブルになったときに、落ち着いて考え、解決することができるよう話し合う場を設けている。	昨年度後期	23.6%	67.6%	8.8%	0.0%	友達とトラブルになった時に落ち着いて考え、解決できるよう、道徳(どう解く)等の時間を大切に、学び合う場を設けている。	昨年度後期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	今回	34.1%	42.2%	20.6%	3.1%		今回	20.9%	71.9%	6.9%	0.3%		今回	53.4%	46.6%	0.0%	0.0%
こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	昨年度後期	51.1%	29.9%	14.1%	4.9%	我が家では、子どもの話をしっかり聴くようにしている。	昨年度後期	21.5%	71.1%	7.4%	0.0%	子ども達と会話する機会を積極的に設け、話をしっかり聴くようにしている。	昨年度後期	50.0%	43.7%	6.3%	0.0%
	今回	50.2%	28.6%	16.4%	4.9%		今回	23.2%	67.0%	9.8%	0.0%		今回	53.4%	46.6%	0.0%	0.0%
じかんにきをつけてこうどうしている。	昨年度後期	68.7%	20.1%	7.7%	3.5%	我が家では、我が子が時間を守って行動できるように働きかけている。	昨年度後期	54.7%	38.9%	5.7%	0.7%	子ども達が時間を意識した行動ができるように働きかけている。	昨年度後期	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%
	今回	51.9%	37.3%	9.1%	1.7%		今回	24.8%	64.7%	10.1%	0.3%		今回	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
そうじやせいりせいとんをきちんとしている。	昨年度後期	55.2%	35.5%	8.2%	1.1%	我が家では、我が子に自分から進んで掃除や身の回りの整理整頓をするように働きかけている。	昨年度後期	13.4%	45.1%	35.9%	5.6%	自分から進んで掃除や身の回りの整理整頓をするように働きかけ、自らも実践している。	昨年度後期	50.0%	43.7%	6.3%	0.0%
	今回	47.4%	37.3%	13.2%	2.1%		今回	17.6%	53.6%	27.1%	1.6%		今回	33.4%	66.6%	0.0%	0.0%
じぶんのよいところがいえる。	昨年度後期	32.3%	38.2%	18.6%	10.9%	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	昨年度後期	26.7%	62.0%	10.6%	0.7%	子どものよさを認め、ほめている。	昨年度後期	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%
	今回	46.0%	24.7%	22.0%	7.3%		今回	31.0%	58.2%	10.5%	0.3%		今回	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%

○今回のアンケートでは、保護者の皆さんに「自ら学ぶ力を育てるために、ご家庭で取り組まれていること」について書いていただきました。数多くの記述をありがとうございました。一部になりますが、紹介させていただきます。

- 子どもとの会話の中で、「なぜだろう」「どういうことだろう」などの言葉を使うようにして、考えたり本を見たりする入口になればと思っています。
- わからないことを質問されたときに一緒に調べる。どうしてもわからないことは先生や知っている大人に聞くように声をかけている。
- 野外活動クラブや実験教室などその場その場の集団の中で協調性をもてる子に育つよう、親や友達がいない環境を作っています。
- わからないことは自分で調べられるよう、辞書や図鑑を机に置き、声をかけている。
- 普段から身近な出来事でも一緒に考えることで、本人の自主性を育てる土台をつくるように心がけています。
- 勉強も人間関係においても、教えたり指示したりするのではなく、考えさせる声をかけをするようにしています。
- 子どもたちが好きだと思えることを見つけるために、もっと時間をとってやりたいものです。家族で過ごす時間や生活の中での工夫から見つけられる楽しみなど、いろいろな関わりの中で発見したり、成長したりしていつて欲しいと思います。
- わからない問題があると、すぐに母を呼ぶが、すぐに駆けつけず様子を見ていると、自分で考えて解くことができることが多い。
- 主体性を育てようという試み自体が主体性を奪っていないかと考えると、なかなか難しいです。自分のことを振り返ると放っておいてもらったのが一番有難かったような気もしますが、子どもの性質との兼ね合いもありますし、やはり難しいです。
- 親が干渉してしまい、自分から進んでやる力（考える力）があまりできていないと思いますので、離れて温かく見守るように努力しないといけないと思います。
- 何事も自分でやってみるようアドバイス・声かけはしても、できるだけ手を出さないよう見守る事を心がけています。また、できるだけたくさんの人と関わりをもつよう、子どもサークルやイベントに参加し、自分の考えで行動・発言できるような体験をさせています。
- 知的好奇心を否定せず、関心をもったことや質問をもとに調べたり答えたり、旅や博物館につれていったりしています。
- 親が先に学習してほしいと思っていることと、子どもが先にやりたいと思っていることが食い違ったとき、話し合った上でなるべく子どもの意見を優先させる。子どもも自分で決めて、親も認めたことならば、途中で挫折することはあっても最後までやろうと頑張るように思う。
- 家では本よりめっきりマンガを読むことが多くなっています。時間配分を自分で考えさせるようにシフトしていつています。早起きして宿題などをするのも決めるのは任せて後方でサポートをしています。
- 失敗を経験させること。
- 自分で1週間のスケジュールを立てて勉強しているので、時間が上手に使えていると思います。



＜評価項目の変更点について＞

・「遅刻をしないように登校している」  
↓  
(昨年度)

・「時間に気を付けて行動している」  
(今年度)

※朝の登校時間だけでなく、1日の時間の使い方を意識して行動できる子の育成をめざす。

・「掃除時間に自分から進んで掃除をしている」  
↓  
(昨年度)

・「掃除や整理整頓をきちんとしている」  
(今年度)

※清潔で安全な環境を整えることで、自分も周りの人も気持ちがよくなることに気付き、行動できる子の育成をめざす。

今回のアンケートでは時間を意識することについては約98%、身の回りの整理整頓を行うことについては約85%の子ども達が「よくできている・だいたいできている」と回答しています。  
「もの」や「時」を自分でコントロールする力は社会に出てからも必要な力となります。そのことは自分にとって必要であるだけでなく、人との関わりを円滑にするためにも必要な力と考えます。「…しなさい。」でなく、なぜそうすることが必要なのかについても伝えたり、子ども達と共に考えたりしていきたいと思っています。

保護者の皆様からいただきました要望・感想についても教職員で共通理解を図るとともに、10月11日の「学校運営協議会理事会」でも話題にさせていただきました。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。